

SMC

Business

Continuity

Plan

事業継続計画



BCP

Formulated

製造、技術、営業、経営・財務のBCPの取組みによる
持続的な製品供給でお客様の信頼にお応えします

“Uninterrupted Operation and Resilient Supply”



持続可能な社会の実現に向けて

持続可能な成長と技術革新の拡大に貢献する 自動制御機器の総合メーカーとして 製品の供給責任を果たし、お客様の信頼にお応えいたします

SMCの主力製品である空気圧機器は、大気中に排出しても問題のない圧縮空気を動力源とする、環境にやさしい自動制御機器です。SMCは、空気圧機器の需要と用途が拡大すること自体が、社会全体の環境負荷の低減につながると考えております。

SMCは、これまでに培った高い技術力を駆使して、より一層、省エネルギー性能に優れ、小型・軽量化を進めた自動制御機器製品を開発・供給し、世界中のお客様のご要望にお応えすることを通じて、産業界の持続可能な成長と技術革新の拡大に貢献いたします。また、自社の事業活動の全過程において、環境負荷物質の使用回避、省エネルギー・省資源化の推進、梱包材の削減、騒音・排水・廃棄物の削減や適正な処理など、環境保護に配慮した取り組みを進めております。

近年、豪雨や大地震などの自然災害、感染症のまん延、政治的・軍事的な対立、部材の価格高騰や供給不足といったリスクが次々に顕在化しております。

私どもSMCは、オートメーションを支える自動制御機器の総合メーカーとして、世界中のどこでもお客様のニーズに応じた製品を速やかに供給できる体制を整えるため、あらゆる努力を続けております。

いかなる非常事態に対しても、平時から備えを固め、有事の際にも事業活動を停止しない体制、仮に停止した場合にも速やかに再開できる体制を構築するとともに、お客様の情報を守る最新のセキュリティ技術を導入しております。

SMCは、同業他社の追随を許さないレベルの盤石なBCPにさらに磨きをかけ、グループの総力を挙げてお客様に対する製品供給責任を果たしてまいりたいと考えております。



代表取締役社長
高田 芳樹

持続可能なBCPの取り組み

(BCP : Business Continuity Plan、事業継続計画)

※2022年8月現在

製造部門BCP

- **量産工場、物流倉庫のリスク分散**
 - 調達・生産・流通まで一貫した情報とモノの流れをマネジメント
持続的な製品供給を行います。
 - 生産環境の急変リスクにも柔軟に即応できるよう長期視点で対策
- **世界主要国をカバーするSMC供給体制**
生産拠点：約30の国と地域、充実した海外現地在庫体制

技術部門BCP

- **グローバル・エンジニアリング・ネットワーク構築**
 - 日本、アジア、アメリカ、欧州の技術センターの連携でBCPを実行
エンジニアスタッフ1,700名ですばやく対応
 - 世界中のお客様の課題に的確、スピーディーに対応
 - 情報共有、緊密な連携により世界中どこでも技術サービスを提供
- **業務システムのバックアップ**
- **JTC(筑波技術センター)の機能バックアップ**

営業部門BCP

- **世界各国 約80の国と地域、約500拠点、
国内1,100名 海外7,200名の営業スタッフでお客様をサポート**
各々の国や地域によって異なるお客様の要求の一つひとつにきめ細かく応えていくために、
営業拠点とスタッフを充実。世界市場でお客様にさらなる「満足」をお届けします。
- **SalesConnect(CRM)による顧客情報の管理**

経営・財務に関するBCP

- **アドバイザリーコミッティの設置**
中国、イタリア、アメリカ、シンガポールの子会社社長による非常時の事業継続体制の構築
- **堅固な財務基盤**
有事の際、事業継続に必要な運転資金や建物・設備等の復旧資金を十分に賄える
堅固な財務基盤(現預金・自己資本)により、「安心」をご提供します。

情報(全部門)

- **グローバル統一した基盤整備によるセキュリティ強化**
(サーバー、ファイアウォール、ネットワーク機器、PC、セキュリティツール)
- **サイバー攻撃の阻止、自動検知、監視体制の強化**
- **データセンター化による災害復旧体制の構築**

事業継続リスクとその対策

事業継続計画

いかに慎重な事業運営に努めても、どうしても避けられない事故や災害などのリスクが存在します。不測の事態に備えて、被害の最小化や復旧の早期化を図るための仕組みづくり、すなわち事業継続計画(BCP)の策定が、必要不可欠です。

リスク分類	リスク要因
外的なリスク	自然災害、サイバー攻撃、地政学リスク、国家間対立、テロ、為替変動、素材高騰・入手困難、輸送問題、協力企業コンプライアンス違反、電力不足・停電、通信障害、原発事故、感染症など
内的なリスク	コンプライアンス違反、環境遵守・脱炭素対応、独占禁止法違反、労働問題、生産能力不足、品質不良、情報漏洩、社員不祥事、不正会計

生産活動に最も身近なリスク

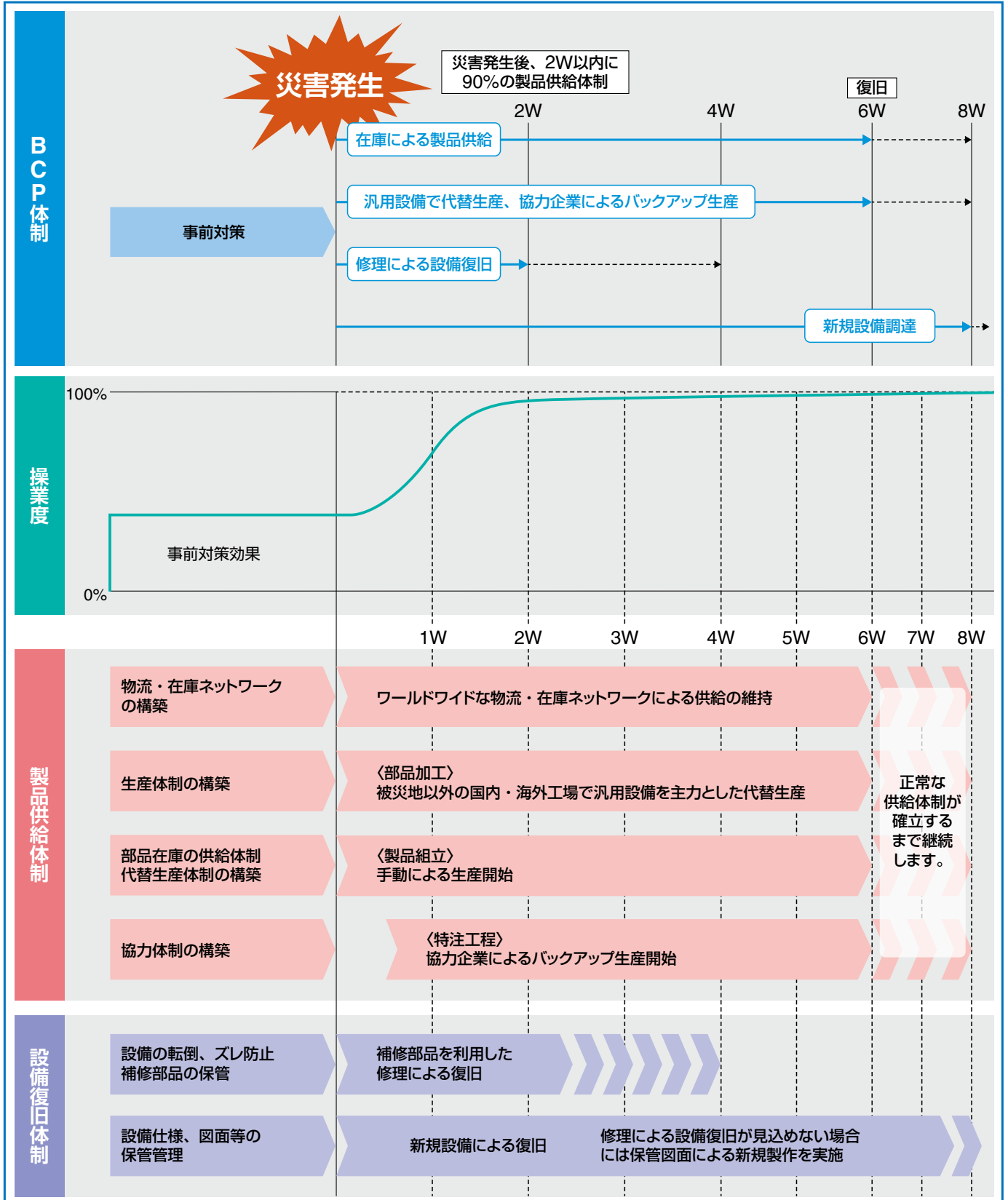
自然災害 リスク	地震、火災、台風、水害、土砂、噴火、大雪、落雷、竜巻、感染症(パンデミック)	
---------------------	--	---



SMCは、地震等を想定した生産への影響度評価と製品供給に対する目標復旧時間を設定し、事前の対策および被災時の事業継続計画を策定しております。

製品供給体制と設備復旧体制

災害発生後、**2週間以内に90%の製品供給体制**にする



日常・緊急時の取組み



日常は効率よく
安全安心な活動に向けて

- 1 定期点検・予防保全・老朽化更新
- 2 防犯対策
- 5 品質改善
- 6 情報セキュリティ強化



緊急事態が
発生したら…

-  **自然災害**
地震・台風・津波など
-  **人為災害**
事故など
-  **停電・電力不足**
-  **サイバー攻撃**

A 〈緊急事態発生〉 緊急対応

- 1** 災害・事故発生検知
安全確保

2 安否確認
- 3** エネルギー管理
- 6** マルウェア・侵入者常時監視
- 7** 情報(タフ・スピード・正確)



日常

日常は効率よく
安全安心な
活動に向けて

1

定期点検・予防保全・ 老朽化更新

定期点検の実施、予防保全のための設備状態監視やその管理、老朽化の更新により設備機能を維持する

2

防犯対策

入退場や入退室の管理を行い、その履歴情報から盗難や情報漏洩等の犯罪を防止

3

エネルギー対策

省エネ活動の成果や課題を「見える化」最適化制御を導入し、さらなるエネルギーの削減活動を実践していく



緊急時

緊急事態が
発生したら…

1

災害・事故発生検知 安全確保

災害や事故の発生を正確に検知し、緊急通報や設備の自動停止を確実にし、二次災害を防止する

2

安否確認

災害や事故発生時に避難路を確保、緊急解錠を行い、速やかに退避させる
また、遠隔の対策本部に素早く安否確認情報を伝達する

3

エネルギー管理

エネルギー使用量を把握しているため、生産に必要な最低限の電力を見極められ、非常用電源など限られた電力での重要設備の稼働が可能。最低限の生産を行うことができる

3 エネルギー対策

4 効率化

7 情報の収集・整理・共有インフラ構築

お客様の利益を守る

自社の利益を創出

地域社会に貢献

B 〈判断〉 方針決定

C 〈BCP発動〉 復旧

状況確認



BCP基本方針決定



支援開始

4

製造設備
復旧支援

5

製造品質
復旧支援

6

ウイルス感染時システム復旧支援

4

効率化

生産プロセスの状態を監視し、生産効率改善のために情報を効率よく収集し提供する

5

品質改善

品質改善のカギとなる情報の収集と分析を行い、的確な品質改善を実施する

6

情報セキュリティ強化

サイバー攻撃に対して強いシステムを提供。また、ウイルス感染による被害が拡大する前に、感染の拡大を未然に察知し、対策を講じる

7

情報の収集・整理・共有インフラ構築

日常の生産活動で得られる知識や技能を収集し、共有する安心安全・環境貢献・収益向上のためにその情報を活用できる環境を提供する

4

製造設備復旧支援

設備の被災状況を正確に効率よく情報収集し、生産再開の可否や再開必要日数の判断を速やかに行う

5

製造品質復旧支援

被災した設備での生産再開時に、製品品質の回復および維持のために必要な情報を収集し分析を行うことで、品質回復の期間を短縮する

6

マルウェア・侵入者常時監視・ウイルス感染時システム復旧支援

事前に収集しているバックアップデータをもとに、短時間でシステム復旧を行う

7

情報 (タフ・スピード・正確)

被災状況や緊急対応状況を正確かつ迅速に収集し、遠隔地でも確実に情報共有ができる体制を構築
また、必要な情報を必要な形に整理し、意思決定者が素早く判断できる環境を提供する



災害発生後、2週間以内に90%の製品供給体制にする

量産工場 リスク分散

生産体制のBCP

〈製品供給体制〉

- 1 ワールドワイドな物流・在庫ネットワークによる供給維持
- 2 被災地以外の各国工場で代替生産
- 3 協力企業によるバックアップ生産
- 4 設備復旧：修理または新規設備による復旧

〈その他取組み〉

- 地域自治体と災害時協力体制締結(国内)
つくばみらい市、釜石市、遠野市、矢祭町
- 遠野サプライヤーパーク(23年稼働予定)
協業による一貫生産体制、高品質化や短納期化による部品供給の強靱化



筑波工場
 駆動機器
 空気圧補助機器
 電磁弁/チューブ
 オートスイッチ



矢祭工場
 管継手
 エアドライヤ/温調機器
 空気圧補助機器
 駆動機器



アジア

シンガポール工場
 管継手
 エアドライヤ



物流倉庫 リスク分散

**ベルギー
欧州中央倉庫**



**ドイツ倉庫
23年稼働予定**

韓国中央倉庫

**東日本
ロジスティクスセンター**

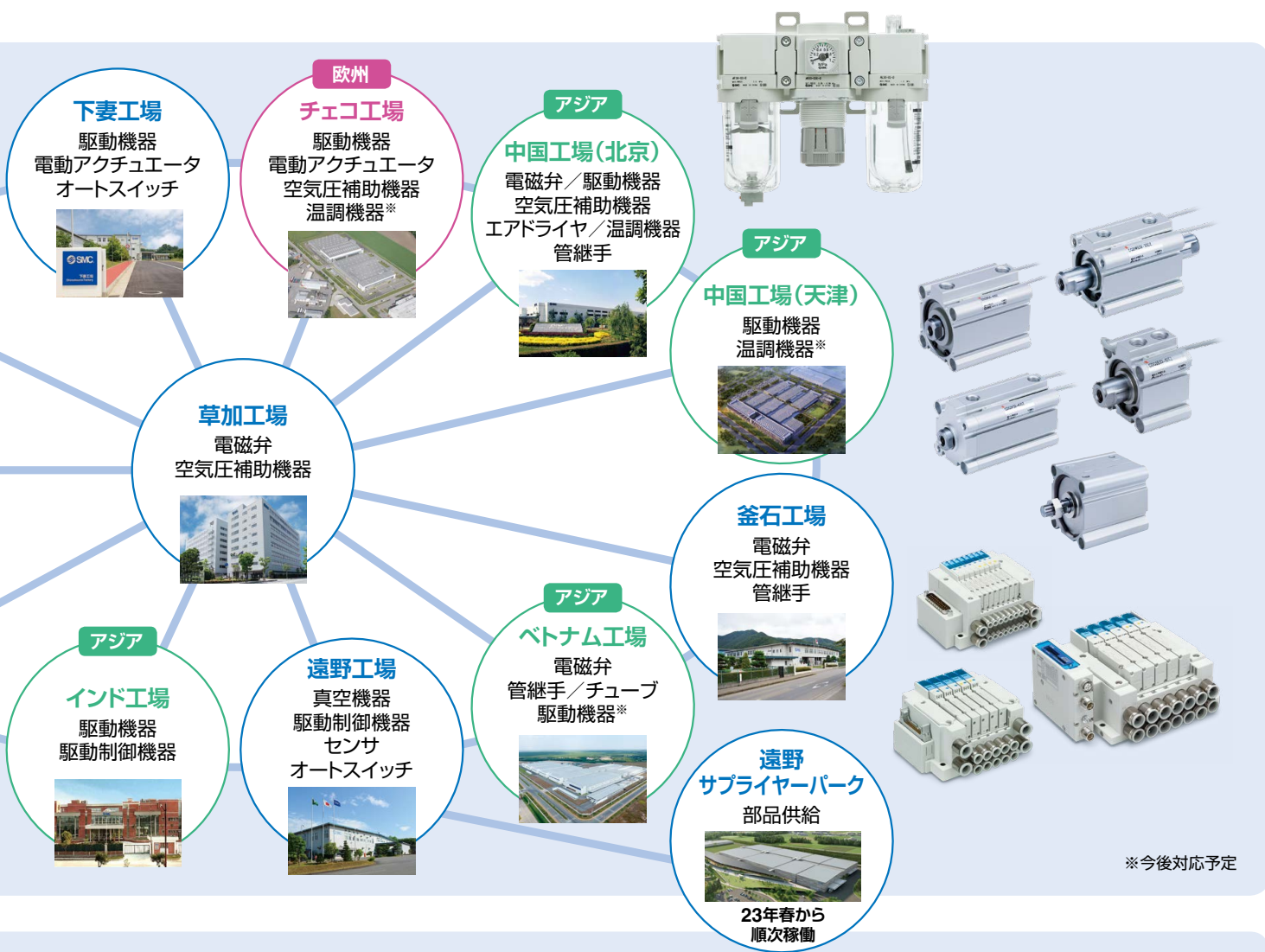


**中国物流センター
北京・上海・広州**



※各国販社の製品在庫でもBCPをサポート

全世界に製品を安定供給



**西日本
ロジスティクスセンター**

**中国倉庫
25年稼働予定**

アメリカ中央倉庫

自動倉庫導入

SMCは、草加工場(埼玉県)、筑波工場(茨城県)など6つの国内生産拠点および中国、シンガポール、インド、ベトナム、チェコの海外生産拠点から、世界の市場に向けてSMC製品をお届けしています。また、世界の各国で現地でのお客様の多様化する要求に柔軟かつすばやく対応するために、現地市場を対象とした生産工場をきめ細かく設置しています。

1 国内生産拠点



草加工場(埼玉県)



釜石工場(岩手県)



筑波工場(茨城県)



遠野工場(岩手県)



下妻工場(茨城県)



矢祭工場(福島県)



下妻第二工場



全世界に製品を安定供給

- 1 国内生産拠点
- 2 海外生産拠点
- 3 海外地域市場向工場



生産拠点：約30の国と地域

アジア・オセアニアの国と地域
(日本、中国、韓国、シンガポール、インド等)

欧州・アフリカの国
(ドイツ、イギリス、フランス、スペイン、チェコ等)

北米・中南米の国
(アメリカ、メキシコ、ブラジル等)

物流倉庫：5つの国と地域

(日本、アメリカ、ベルギー、中国、韓国)

2 海外生産拠点



中国工場(北京)



中国工場(天津)



シンガポール工場



インド工場



ベトナム工場



チェコ工場

3 海外地域市場向工場

北米・中南米



アメリカ



ブラジル



メキシコ

アルゼンチン
チリ

欧州・アフリカ



ドイツ



イギリス



イタリア

オーストリア
スイス
スペイン
トルコ
フランス
南アフリカ

アジア・オセアニア



オーストラリア



韓国



中国(広州)

インドネシア
タイ
台湾
ニュージーランド
フィリピン
香港
マレーシア

■グローバル・エンジニアリング・ネットワークの構築

世界中のお客様のご要望に的確かつスピーディーに対応するため、日本、アメリカ、ヨーロッパ、中国に技術センターを設立。技術センター間の情報共有による強力なグローバル・エンジニアリング・ネットワークにより有事に備えるBCPを構築しています。世界中、いつでもどこでも、同質の技術サービスをご提供します。

技術部門グローバルバックアップ体制

災害やパンデミックの発生時においても、在宅勤務、サテライトオフィス、海外技術センターからも業務が継続しカバーできるようバックアップ体制を強化していきます。

■業務システムのバックアップ

業務システム(CAD、図面データ、技術データなど)のデータバックアップを強化するためのデータセンターの増強をしてまいります。

■筑波技術センター(JTC)の機能バックアップ

JTCの製品設計開発・技術サポートの機能は、海外技術センターでも同様にカバーいたします。

筑波技術センター(日本)



欧州技術センター(イギリス)

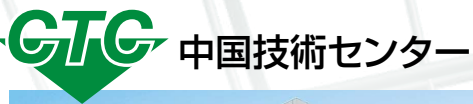


ドイツ技術センター



ネットワーク

エンジニアスタッフ
1,700名



■約80の国と地域、約500拠点のセールスネットワーク 国内1,100名、海外7,200名の営業スタッフでサポート

海外ネットワークにより、SMCは国際ブランドとしての高い評価と信頼を定着させ、そのシェアも35%を超えて世界トップの実績をもつまでに成長しました。今後も各々の国や地域によって異なるお客様の要求にお応えしていくために、営業拠点とスタッフの充実を図り、世界の市場のお客様にさらなる「満足」をお届けします。

世界80の国と地域 500拠点で現地サービス

現地に対応した営業サービス

北米・中南米

●現地法人

北米・中南米

- ★ アメリカ
- ★ アルゼンチン
- ★ カナダ
- ★ コロンビア
- ★ チリ
- ★ ブラジル
- ★ ベルギー
- ★ ボリビア
- ★ メキシコ

欧州・アフリカ

- ★ アイルランド
- ★ イギリス
- ★ イタリア
- ★ エストニア
- ★ オーストリア
- ★ オランダ
- ★ カザフスタン
- ★ ギリシャ
- ★ クロアチア
- ★ スイス
- ★ スウェーデン
- ★ スペイン
- ★ スロバキア
- ★ スロベニア
- ★ セルビア
- ★ チェコ
- ★ デンマーク
- ★ ドイツ
- ★ トルコ
- ★ ノルウェー
- ★ ハンガリー
- ★ フィンランド
- ★ フランス
- ★ ブルガリア
- ★ ベルギー
- ★ ポーランド
- ★ ポルトガル
- ★ 南アフリカ
- ★ モロッコ
- ★ ラトビア
- ★ リトアニア
- ★ ルーマニア
- ★ ロシア

SalesConnect(CRM)による顧客情報の管理

世界各国の顧客情報をCRMの活用により管理いたします。



SVC 本社

日本

- 現地法人
- ◆ 営業所
- 代理店

アジア・オセアニア

中東

アラブ首長国連邦
イスラエル

アジア／オセアニア

- | | |
|-----------|-------------|
| ★ インド | ★ 中国 |
| ★ インドネシア | ★ 日本 |
| ★ オーストラリア | ★ ニューージーランド |
| ★ 韓国 | ★ フィリピン |
| ★ カンボジア | ★ ベトナム |
| ★ シンガポール | ★ 香港 |
| ★ タイ | ★ マレーシア |
| ★ 台湾 | ★ ミャンマー |

★ 生産工場

※各エリアの国名および地域名は、五十音順です。
※※現地法人のある国と地域のみを記載しています。



グローバル
ネットワーク
住所一覧

お客様の大切な情報を安全に運用するために管理体制を強化してまいります

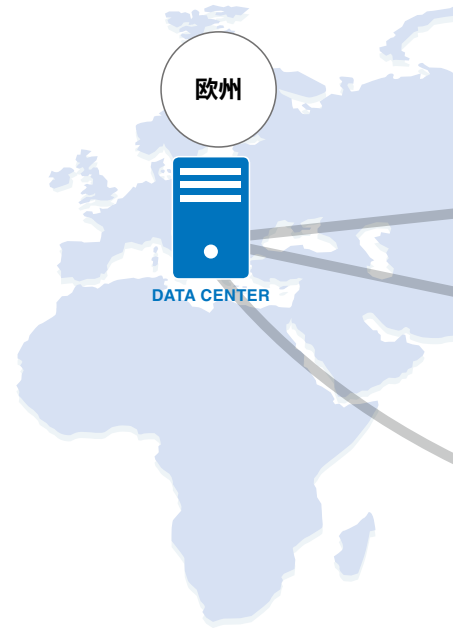
■グローバル統一した基盤整備によるセキュリティ強化

(サーバー、ファイアウォール、ネットワーク機器、PC、セキュリティツール)

■サイバー攻撃の阻止、自動検知、監視体制の強化

■データセンター化による災害復旧体制の構築

- 統一したデータセンターで強固なセキュリティ対策を実施。
- 最新のディザスタリカバリ[※]体制を構築し、サイバー攻撃やウイルス感染の被害拡大を未然に察知し対策します。マルウェア・侵入者などを常時監視しウイルス感染時はシステムの冗長化により短時間でシステム復旧を行います。



※ディザスタリカバリ(Disaster Recovery)「災害復旧」とは、地震や津波などの天災や、テロ、不正侵入などによりシステムが壊滅的な状況になった際に復旧・修復すること、また、その災害に備えたシステムや体制を指します。効率的、かつダウンタイムを最小限にして早期復旧を可能にします。

Emailセキュリティ

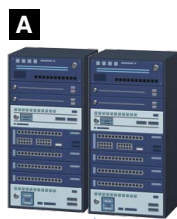


1 高度なセキュリティ

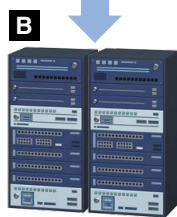
クライアントセキュリティ

衛生	PCの衛生管理を行い、サイバーインシデントが発生しづらい環境を作る
管理	各社員のパスワード管理によりパスワードの漏洩を防ぎます
保護	PCやサーバーをサイバー攻撃から守り、ウイルス等が拡散しないように保護します
事故処理	専門機関と連携し、インシデント分析・処理を行う。経過・結果を保管しインシデント完了まで行う
教育	HumanFirewallを強化。情報セキュリティに関する意識改革を行う

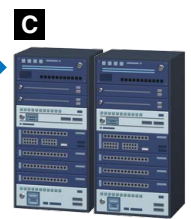
同一エリア内データセンター



2 レプリケーション



別エリアのデータセンター

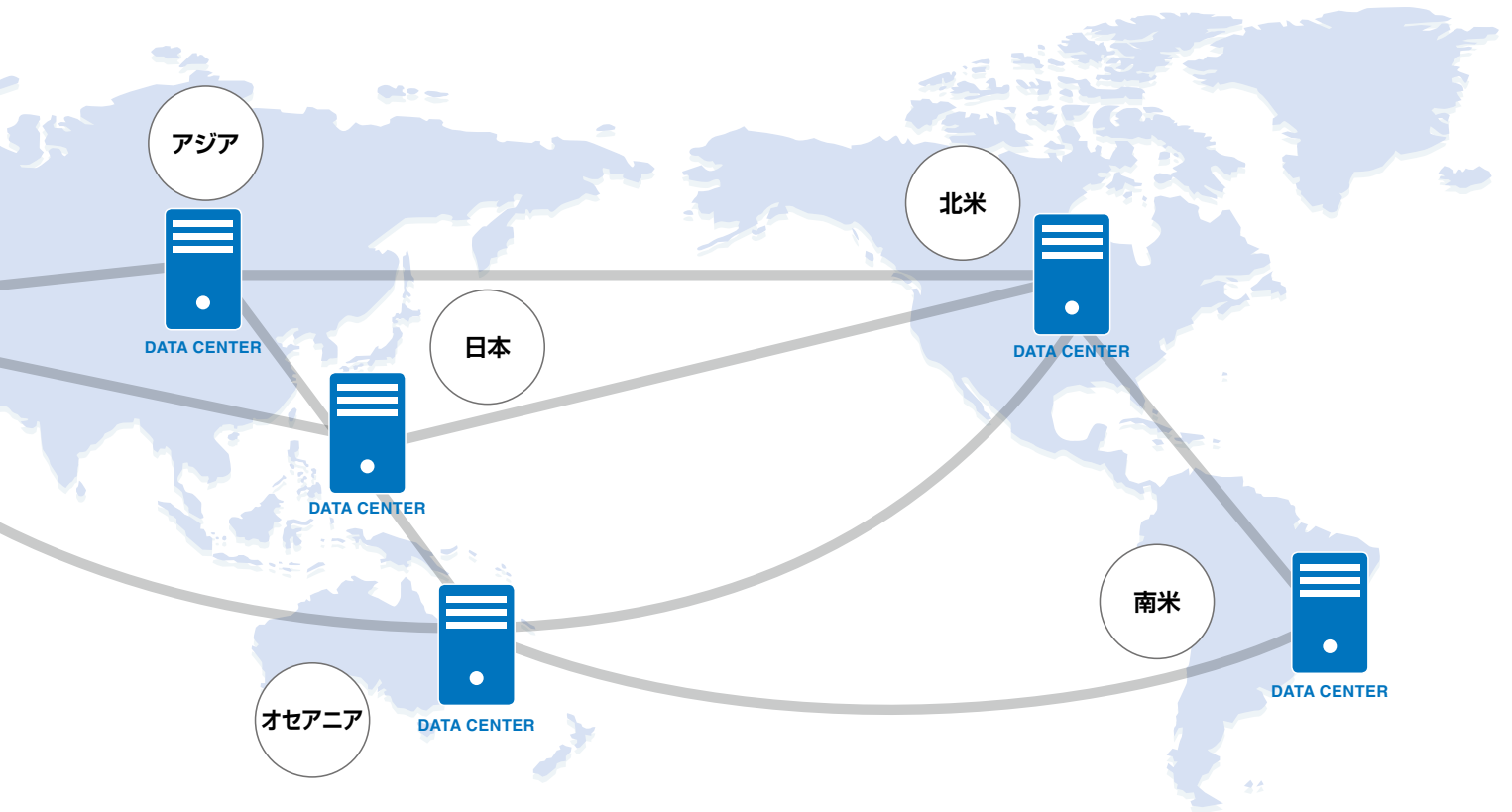


3 バックアップ

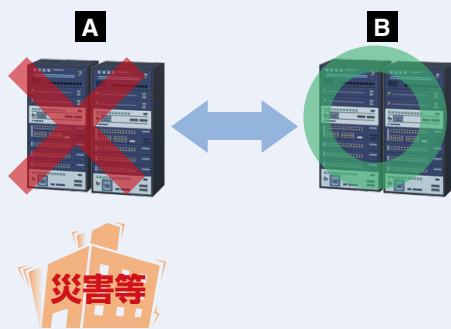
4 復元

レプリケーションとは、データの複製(レプリカ)を別のコンピュータ上に作成し、通信ネットワークを介してリアルタイムに更新を反映させて常に内容を同期します。

セキュリティ

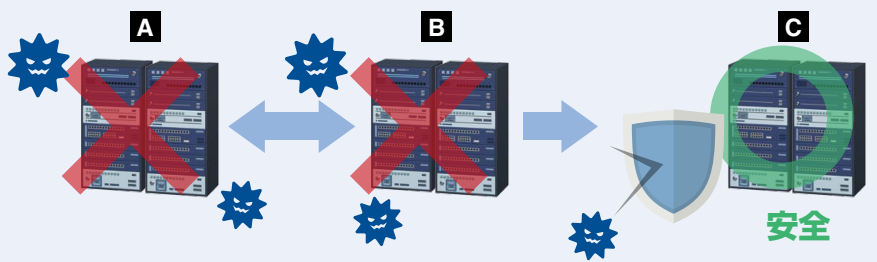


災害発生



どちらか一方が災害による障害が発生してもカバーします。
平時は負荷分散に役立ちます。

サイバー攻撃発生



サイバー攻撃によりA-Bのサーバーで障害発生しても、CのバックアップデータからA-Bのサーバーへ素早く復元します。
※A-Bはレプリケーションによりサイバー攻撃では同じ障害が発生します。

東日本大震災対応事例：釜石工場

釜石地区はたびたび、マグニチュード7クラスの地震に見舞われてきました。その経験を活かした対策により、東日本大震災の際にも**被害の最小化と早期復旧を実現(8日目生産再開)**しました。

1 インフラ

各工場に衛星電話を設置
通話手段の確保



各工場に大型発電機を設置
(80%稼働で2日間電源供給可能)



2 先頭から後ろまで見渡せるレイアウト(袋小路は作らない) 平時：異常の早期発見に有効、有事：早期避難のため通路幅拡大

●レイアウト変更

ダブルライン

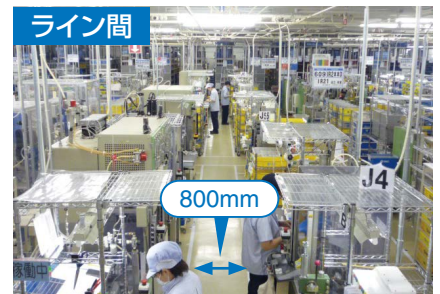


●作業者の異常発見・避難通路の確保

メイン通路

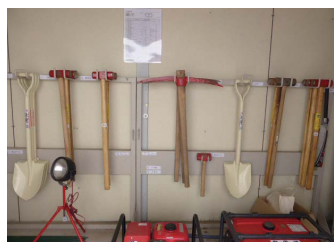


ライン間



3 防災備蓄品：内容の充実(3日分の食糧備蓄)と適切な点検を継続

●防災倉庫



4 すべての備品・設備に転倒・落下防止対策を継続

■設備の転倒防止対策

●大型設備にL型ブラケット止め

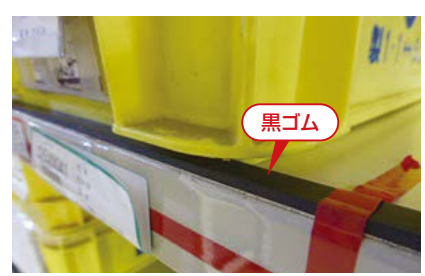


■備品、生産材の落下防止対策

●ワイヤー止め



●生産材収納棚の落下防止対策



工場別 ハザード関連情報

国	工場名 (エリア)	耐震震度	想定震度	液状化 リスク	海拔(m)
日本	草加工場 (埼玉県)	6強~7	6弱	やや高い	5
	筑波工場 (茨城県)			なし	19(9.8)**
	釜石工場 (岩手県)				12
	矢祭工場 (福島県)				158
	遠野工場 (岩手県)		5強	360	
	下妻工場 (茨城県)		6弱	28	
	◇筑波技術センター (茨城県)			16	
	◇本社 (東京都)			やや高い	5
中国	北京工場	8度	—	なし	28
	天津工場				3.8
シンガポール	シンガポール工場 (シュロン)	なし	なし	なし	4.5
インド	インド工場 (ノイダ)	Zone4基準	Zone4/IS基準 (MSKVIII)	なし	200
ベトナム	ベトナム工場 (ホーチミン)	現地基準の 地震力で設定 地震力は0.0374	なし	なし	40
チェコ	チェコ工場 (ヴィシコフ)	3~4	なし	なし	254
※()は筑波第3工場 ◇工場以外での参考					
アメリカ	アメリカ工場 (インディアナ)	B基準	B基準	NEHRP基準C/D	236
韓国	韓国工場 (テジョン)	震度6の基準	震度6の基準	なし	36

SMC株式会社

本社／〒101-0021 東京都千代田区外神田4-14-1 秋葉原UDX 15F

TEL.03-5207-8271 FAX.03-5298-5361

<https://www.smcworld.com>

